

球技大会実施企画書

学生会執行部

1. 日時

令和2年1月23日(木) 8:50~16:30

2. 会場および種目

(1)開会式 8:50 陸上競技場(※雨天時は一斉放送があるまで各教室で待機)

なお、点呼の場所と時間は各担任の指示に従うこと。

(2)種目会場(雨天時は屋外競技のみ中止して決行)

バスケットボール 第2体育館

サッカー 野球場

ドッジボール 陸上競技場

バドミントン 第1体育館

卓球 第1体育館

(3)雨天時の対策

午前8時の段階で主事、体育科教員、会長及び副会長がグラウンドの状態と天気を吟味し、判断します。

もし、グラウンドでの競技が行えないと判断した場合は体育館での種目のみで球技大会を行います。

大会の途中で雨天となり中断せざるを得ない場合は、準決勝以前であれば無効となります。

準決勝以後は、行える場合は実施し、これ以上競技が行えないと判断したら、その時点の得点で順位を付けるもの
とします。

屋外競技のメンバーは屋内競技に出場している人の応援をしてください。

3. 大会本部および救護、AED

(1)大会本部 第1体育館前

(2)救護 保健室

(3)AED 図書館棟 1F ロビー、管理棟 1F、寮事務玄関

4. 責任者

(1) 全体責任者 富木田(学生会)

(2) 部門責任者

本部担当

	種目	運営	責任者	記録(学生会)
1	バスケットボール	男女バスケットボール部	詫間	水田 (1年)
2	サッカー	サッカー	川人	木下
3	ドッジボール	学生会	吉野	水田 (2年)
4	バドミントン	バドミントン部	竹林	鈴木
5	卓球	卓球部	原	細川 (情報)

5. 開会式

- (1) 司会進行 放送愛好会
- (2) 出席点検 各クラス担任 ※雨天時は一斉放送があるまで待機
- (3) 主事挨拶 先生 (学生主事)
- (4) 会長挨拶 (学生会長)
- (5) ルール説明
- (6) 準備体操 全体 学生会スタッフ※CD コンポとラジオ体操の CD は学生会のものを使用

6. 試合進行

- (1) 各競技の運営は体育局関係クラブに事前に依頼する。
- (2) 大会本部を第1体育館前において試合結果等を掲示。

7. 賞品と表彰

- (1) 総合1位、2位、3位のクラスに賞状。
- (2) 種目別1位、2位、3位のクラスに商品及び賞状(商品はその競技にメンバー登録されている人のみ)
- (3) 総合順位の決定方法

各種目の得点は以下の通り。全種目の得点の合計により総合順位を決定する。同点の場合は上位入賞種目数の多少により決定

- (a) 1位 → +13点
- (b) 2位 → +10点
- (c) 3位 → +8点
- (d) 以下、1勝毎 → +2点

- (4) 商品は学生会が発行する売店券で、金額は下記の通り、賞金金額は計27000円です。
- (5) 教職員(専攻科生も含む)は売店券の配布の対象外である。

種目別賞金(学生会負担分)

H27年度冬季	種目別賞金 該当人数			学生会
種目	1位	2位	3位	負担金額
賞金単価[円]	¥300	¥200	¥100	
バスケットボール	7	7	7	¥4,200
サッカー	10	10	10	¥6,000
ドッジボール	12	12	12	¥7,200
バドミントン	8	8	8	¥4,800
卓球	8	8	8	¥4,800
合計人数	45	45	45	¥27,000

※学生会負担予算に関しては、学生会会計に事前確認をしておくこと。

8. ルール

8-1. 全体のルール

- (1) メンバー表により、出場選手を確認すること。もし、メンバー表に記載しているメンバー以外が出場する場合は欠場選手、出場選手の名前を学生会スタッフに申告すること。もし、**違うクラスの人が参加している場合は失格とします。**
- (2) 該当選手は学生会スタッフに申告してください。なお、両方のクラスへの参加は認めていません。
- (3) 審判はゲーム開始時にメンバー確認を行うこと。
- (4) 試合開始時及び、終了時には全員揃って挨拶をすること。
- (5) 入賞賞金については商品獲得が確定した時点でその場にいるメンバーに限ります。
- (6) 各競技の片付けは入賞したチームのメンバーと審判が行うこと。
- (7) **各競技とも試合に参加できるメンバーの中で部員は2名までとします。**今年度、各クラブの顧問が提出してある部員名簿に名前が記載されている場合、部員と判断します。今年度引退した学生も部員とみなします。
- (8) **試合が終わった選手は自分のクラスの応援をしてください。**
- (9) 決勝、準決勝、3位決定戦に限り両チームと学生会スタッフの承認があれば最大 20 分間試合を遅らせることが可能で
遅らせたい場合は各競技担当の学生会スタッフに声をかけてください。

※これについて、学生会執行部は一切の責任を負いません。

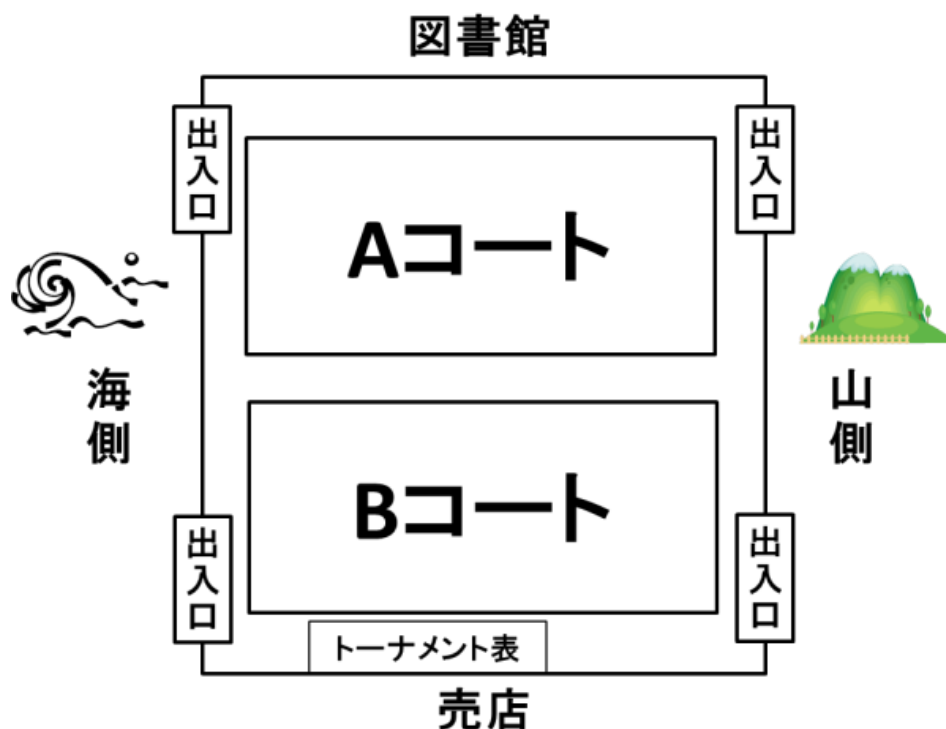
- (10) **今大会は各ブロックの試合を時間ごとに割り振っています。**
試合時間に遅れると相手チームに迷惑をかけます。したがって、試合開始 **10 分前**には必ず集合してください。

8-2. 各種目のルール

バスケットボール

- (1) レギュラー5人+補欠2人。
- (2) 図書館側をAコート、売店側をBコートとします。
- (3) 日本バスケットボール協会が定めた規則に準じて行います。
- (4) 試合は前半8分+ハーフタイム3分+後半8分で行います。
- (5) 競技者人数が3人以下の場合は試合放棄として失格とします。
- (6) 1~3回戦は2コートで行います。
- (7) 試合中はチームの区別のため必ずゼッケンをつけるようにしてください。
- (8) 試合中、コートサイドにおける練習は試合の妨げとなるのでしないでください。(但しハーフタイム時の練習は次の試合に出場するチームを優先します。)
- (9) ルールについては以下の通りとします。
- (10) 試合の際は、競技に適したシューズを着用してください。
- (11) 試合終了時に同点の場合は以下のルールで決定します。ただし、準決勝、決勝は2分間の延長を行います。
両チームで試合終了時に試合に出場していた5人が1本ずつフリースローを行います。
シュートが入った本数で勝敗を決定します。
5本ずつのフリースローの後に両チームの得点と同じである場合は、サドンデス方式でフリースローを続けてください。同数のフリースローで両チームの得点に優劣がつか次第、勝敗を決定し、試合を終了します。
- (12) ファウルを1試合で3つ犯した場合、退場となります。
- (13) 試合で採用しないルール
○3秒、5秒、8秒、24秒 ○タイムアウト ○フリースロー
- (14) 試合の際は、貴金属類を外してください。
- (15) 試合開始時間はトーナメント表に記載されている時間で行います。

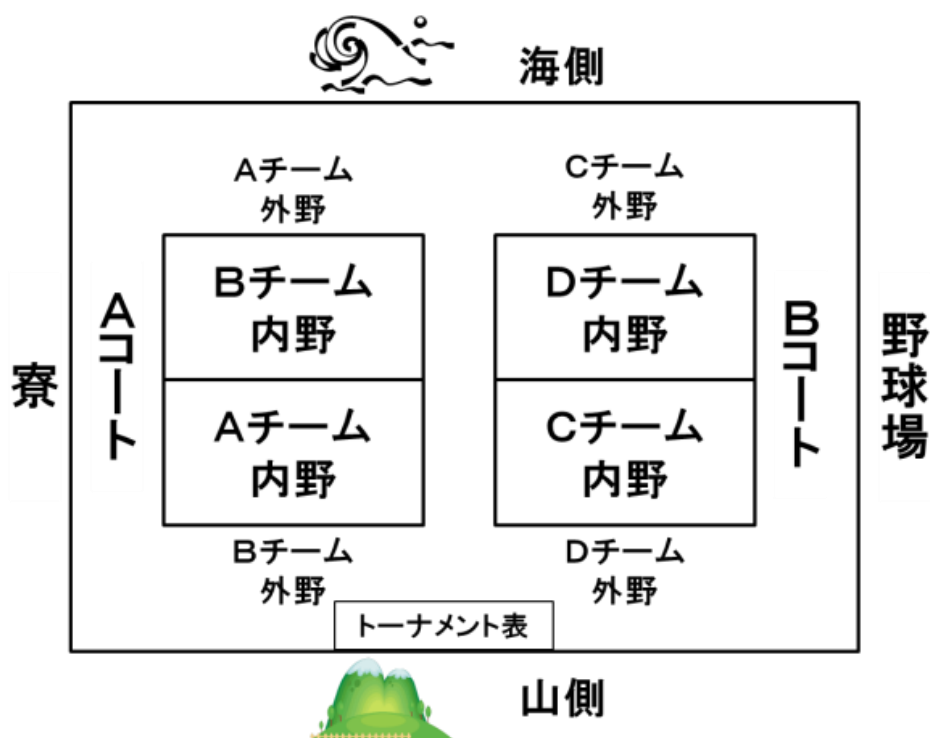
バスケットボール【第2体育館】



ドッジボール

- (1) レギュラー10人+補欠2人
- (2) 寮側をAコート、野球場側をBコートとします。
- (3) 試合開始時刻に人数が揃ってなくても試合を始めます。
- (4) 1セットの勝敗はそのチームの内野の人数で決めます。
- (5) 試合は1セット5分間の3セットマッチで行います。試合開始時間はトーナメント表に記載されている時間で行います。
- (6) もし1勝1敗1分となったときは、3セットの内野に残っていた人数の合計が多かったチームの勝利とします。
- (7) 試合開始時は外野3人にしておいてください。
- (8) 始め外野にいる者は離脱者として扱います。
- (9) ボールが複数人に当たり、受け取れずに地面についた場合は最初の人のみ離脱者となります。但し、ボールが地面につくまでに味方が受け取ればセーフとなります。
- (10) 外野から内野の人にボールを当てた場合、その時点でのみ内野に入ることが出来ます。後になって入ることはできません。
- (11) ボールが頭に当たった場合はセーフとします。
- (12) ボールを蹴る事は禁止します。
- (13) 試合開始時間はトーナメント表に記載されている時間で行います。

ドッジボール【陸上競技場】



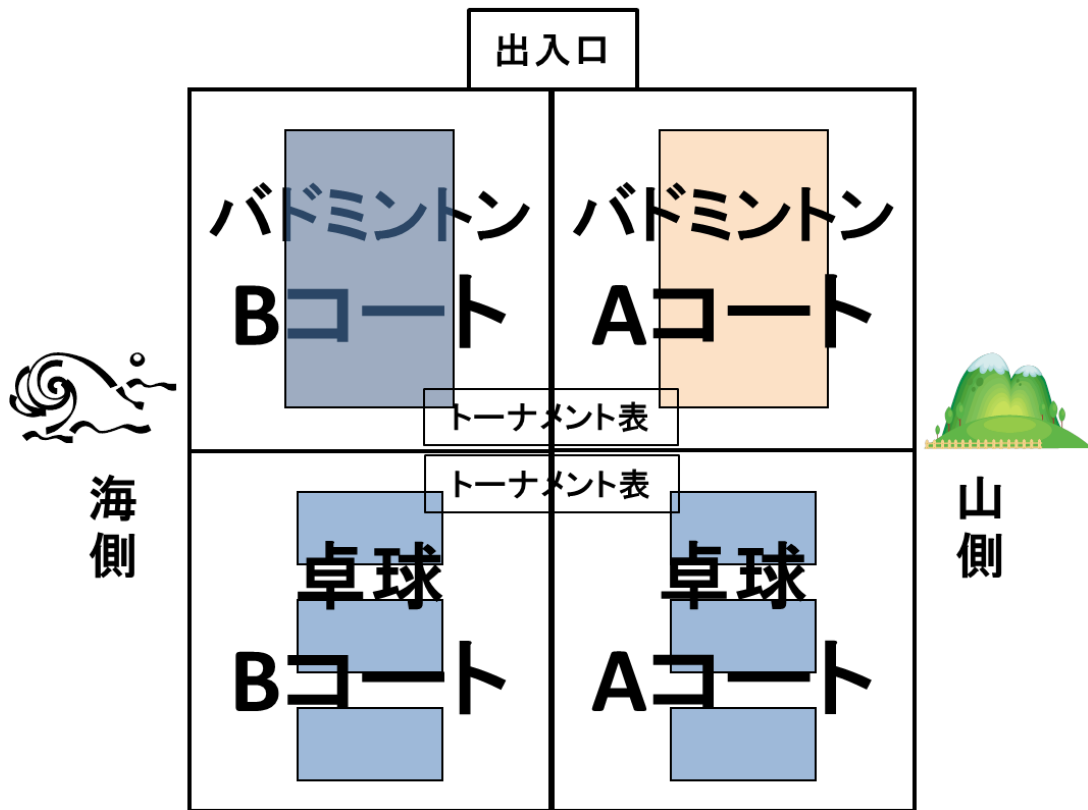
バドミントン

- (1) レギュラー6人+補欠2人。
- (2) 玄関側から入って左側をAコート、右側をBコートとします。
- (3) 日本バドミントン協会が定めた規則に準じて行います。
- (4) 各クラス、ダブルス3チームで試合を行います。2セット先取とします。ただし、勝敗が決しても最後まで試合を行ってください。
- (5) 競技者人数が3人以下の場合は試合放棄として失格とします。
- (6) ルールについては以下の通りとします。
- (7) 試合の際は、競技に適したシューズを着用してください。
- (8) 1,2回戦はラリーポイント制1セット15点マッチ、準決勝以降の試合はラリーポイント制1セット21点マッチで試合を行います。デュース制を採用します。
- (9) 試合の前にじゃんけんを行い、勝った方が先にサービスを行います。
- (10) サービスは、打点を腰より下から打ってください。
- (11) 2人のうち、どちらがサービスを行っても構いません。ただし、サービスを行う前に必ずどちらの選手がサービスを行うか相手に申告するようにしてください。
- (12) サーバーは、サービスラインより奥から対角線上の相手のサービスラインよりも奥に対してサービスを行います。
- (13) 得点を得た側が次のサーブ権を得ます。
- (14) ネットインはどの場合でも有効とします。
- (15) ポストの外側を通して相手コートにシャトルが入った場合は無効とします。
- (16) **試合開始時間はトーナメント表に記載されている時間で行います。**

卓球

- (1) レギュラー6人+補欠2人。
- (2) 玄関側から入って左側をAコート、右側をBコートとします。
- (3) 日本卓球協会が定めた規則に準じて行います。
- (4) 各クラス、ダブルス3チームで試合を行います。3試合のうち、勝利数が多いクラスの勝ちとします。ただし、勝敗が決しても最後まで試合を行ってください。
- (5) 競技者人数が3人以下の場合は試合放棄として失格とします。
- (6) ルールについては以下の通りとします。
- (7) 試合の際は、競技に適したシューズを着用してください。
- (8) ラリーポイント制11点マッチとします。試合は2セット先取3セットマッチとし、1,2回戦は3セット目を6点マッチとし準決勝以降は11点マッチとします。デュース制を採用します。
- (9) 試合の前にじゃんけんを行い、勝った方が先にサービスを行います。
- (10) サービスについては2本ずつで交代します。10対10、または5対5になった時は1本ずつ交代し、それ以降は2点リードした側の勝ちとします。
- (11) サーブは右側のコート半分から相手の右側のコート半分へクロスサーブを行うようにします。
- (12) サーブのボールがネットインした場合には、サーブをやり直してください。
- (13) サーバーが2本サーブをし終わると敵のレシーバーがサーバーとなり味方のサーブをしていなかった人がレシーバーとなります。
- (14) **試合開始時間はトーナメント表に記載されている時間で行います。**

バドミントン・卓球【第1体育館】



8-3. トーナメント表について

トーナメント表は競技ごとに図示した場所がわかりにくいため、下記で説明する。
バスケットボールのトーナメント表は第2体育館の売店側の入り口付近の壁に固定する。
サッカーのトーナメント表は野球場の入り口右側のネットに固定する。
ドッジボールのトーナメント表は陸上競技場の山側の朝礼台付近に固定する。
バドミントン、卓球のトーナメント表は第1体育館の真ん中のネットに固定する。